

コーナー展 品川歴史館をふりかえる～大規模改修に向けて～

期間	令和4年3月19日(土)～6月30日(木) 82日間 ※5月9日(月)～5月17日(火)は館内燻蒸による臨時休館				
会場	第二展示室				
有料観覧者	一般 1,974	小中 177	一般団体 0	小中団体 0	有料計 2,151
無料観覧者	区関係 107	区内小中 308	招待 190	高齢者 867	無料計 1,472
					総計 3,623

〔開催趣旨〕

令和4年(2022)5月19日で開館37年目を迎えた品川歴史館は、大規模改修工事のため令和4年7月1日から休館し、令和6年春頃にリニューアルオープンする予定である。

休館前最後の展示として、当館開館に先立って当地「大井鹿島遺跡」の発掘調査に携わった立正大学が展示協力した第1部と当館37年間の軌跡をたどった第2部の二部構成で品川歴史館をふりかえるコーナー展を開催した。

第1部 品川歴史館と大井鹿島遺跡

品川歴史館建設前の発掘調査により古墳時代から奈良時代にかけての複合遺跡「大井鹿島遺跡」が発見された。発掘調査は、立正大学の協力により実施されたことから、昭和58年(1983)の第一次調査で出土した考古資料などを立正大学生が選抜し遺跡を紹介した。

第2部 開館から現在まで～37年間の軌跡～

品川歴史館の開館前に当敷地にあった吉田秀雄記念館の写真、開館時の資料や写真、これまでの特別展のポスターなどから、品川歴史館の開館から現在まで37年間の軌跡を紹介した。

